



2008年(平成20年)

10月7日発行

Vol. ⑤

志摩市応援倶楽部 志摩びとの会事務局  
 〒517-0592  
 三重県志摩市阿児町鶴方3098-22 志摩市役所 企画政策課内  
 TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252  
 e-mail: shimabito@city.shima.lg.jp  
 HP: http://www.city.shima.mie.jp/shimabito/index.cfm

## “志摩を元気にしよう”

8月の最後の週末、車を海へ走らせていました。

目的地は、波切漁港。志摩ビルフィッシュトーナメントの開催地です。(右下記事)

テレビで芸能人が釣り上げているのは見たことがありますが、生のカジキを見たのは初めてでした。

参加者の中には親子連れもいて、中学生の男の子が釣り上げたというチームもありました。

「自分もあれを釣り上げたら気持ちいいだろうな。いつかクルーザーに乗ろう」と夢を見させる、この夏で一番印象に残るイベントでした。

志摩びと会員でもある堀実行委員長からのコメントにあった「協力」という言葉が、志摩の活性化にとって重要だと大会を通して改めて認識しました。

志摩びと会員が実際に志摩

で活動し、地元の人が協力する。両方の力が合わさって強い力となっていく。

志摩びとの会には、現在250名以上の会員の方に参加していただいています。「3人寄れば文殊の知恵」と言いますが、素晴らしい会員の方々が集まれば、志摩を動かす大きなエネルギーとなることは間違いのないでしょう!

志摩びとの会事務局



## 志摩市名誉市民第1号 羽根直樹本因坊(磯部町出身)



- 志摩市名誉市民第1号ということで、お気持ちはいかがですか。  
身に余るといふか、大変名誉ある賞をいただきまして、身が引き締まる思いです。
- 羽根さんの「志摩」に対する思いをお聞かせ下さい。  
ここは生まれた場所であって、志摩を離れた後も何度も足を運んでいます。志摩の方には囲碁を教えてもらったりして、大変お力をいただきました。また志摩は自然が豊かですので、来るたびに、子どもを連れて海や公園へ行って楽しい時を過ごしています。
- 最後に志摩の方へメッセージをお願いします。  
私のできることは囲碁しかありませんので、力の限り囲碁のために精一杯やらせていただいて、それで志摩の方に喜んでいただけたら、最高のことです。これからもよろしくお願いたします。

【プロフィール】  
 羽根直樹 (はねなおき) プロ囲碁棋士 1976年8月生 志摩市磯部町出身  
 父であり師匠である羽根泰正九段の指導のもと、平成3年15歳で入段。平成14年に九段(史上最速記録)。平成13年に「天元」を獲得し、以後3連覇。また平成16年に「棋聖」を獲得し、以後2連覇。平成20年7月、囲碁3大タイトルの1つである「本因坊」タイトルを獲得。

志摩市初の名誉市民が、囲碁棋士の羽根直樹本因坊に授与されました。

羽根さんは、囲碁界の四天王として活躍しており、今年7月には、囲碁の最高タイトルの一つである本因坊タイトル戦を3連敗の後4連勝で勝ち取りました。

今年2月には、羽根さんの協力の下、志摩市囲碁連盟が設立されており、愛知県にお住まいにもかかわらず、父である羽根泰正九段とともに志摩市における囲碁の普及活動に大きく貢献されていらっしゃいます。この度、超多忙な羽根さんに、名誉市民表彰式に出席された際にインタビューの機会をいただきました。

## 祝 北京パラリンピック入賞 別當由香選手

9月7日～9月15日の間に女子車いすバスケットボールの熱い戦いが繰り広げられました。チームの副キャプテンは、市内の浜島町南張出身の別當由香選手。

別當選手は、8年前から車いすバスケットを始め、前回のアテネ大会では候補から落選。その逆境を乗り越え、今回メンバーに選ばれ、副キャプテンとして大活躍しました。

予選を全勝で通過したものの、結果は、惜しくもメダルまであと一步の4位入賞でした。

別當選手には志摩市からの表彰だけでなく、三重県から「スポーツ栄誉賞」が授与されることに決まりました。また厚生労働大臣表彰の受賞も決定しました。別當選手、夢と興奮をありがとうございました。



### 別當選手からのメッセージ

北京パラリンピックを無事に終え、怪我することもなく帰国しました。

皆さんの心温まる応援、本当にどうもありがとうございました。結果は、残念ながら4位に終わりました。チームの目標は、もちろん「メダル獲得!」だったので、本当に悔しい気持ちでいっぱい、素直にこの結果を受け入れることができませんでした。ですが、日本で応援してくれた全ての人に「よく頑張った」「世界で4位なんだから胸を張って帰ってきていいんだよ」の言葉をもらい気持ちが楽になっていきました。

私は、日本代表になり世界最高峰の舞台で大好きなバスケットを通して世界と戦ってきましたが、ここまでの道のりは本当に辛くもあり、苦しくもあり、一言では言い表せません。ですが、ここまで来れたのは、私を応援してくれる人たちがいたからこそです。その人たちへ恩返しがしたくて、けれど、今回もまた、皆さんの温かな言葉に助けられてしまいました。今は、「世界で4位!!! 精一杯頑張った結果です」と大きな声で叫べます。

これからは、私と同じように世界の舞台に立つことを夢見ている子どもたちのためにこの興奮を伝えていければと思っています。

最後に、応援してくれた沢山の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第1回志摩ビルフィッシュトーナメント

8月30日、31日に「第1回志摩ビルフィッシュトーナメント」が市内大王町波切の大王崎沖で行われました。

ビル (bill) とは、細長くちばしのことであり、「ビルフィッシュ」とは、カジキマグロなどのするどいあごを持つ魚のことです。

ロマンを釣り上げるこの大会は、過去22回の歴史を持つ「中日ビルフィッシュトーナメント」を引き継ぎ、今回から「志摩」の名前を受け、生まれ変わりました。

30日は悪天候のため中止となりましたが、翌日は気持ちのよい快晴。波切漁港からたくさんのクルーザー



大会実行委員長チームと釣り上げた3m超のカジキ。ガッツポーズの堀さん(写真右側)

が出発していきました。近年の大会では釣り上げられる本数が少なかったのですが、31日のみでも10本が釣り上げられました。10本全てを陸へ持ち帰るのではなく、小さいものは標識(タグ)を打って海に放流(リリース)し(タグ&リリース)を行うことにより、水産資源の保全にもきちんと配慮していました。未長くフィッシングを続けるためには大切な取組みです。総勢32チーム約130人の参加があり、第1回大会は大成功に終わりました。

### 第1回大会を終えて 堀大会実行委員長のコメント

今回は、志摩の漁師のみなさんのおかげで、一本釣り上げることができました。最近あまり釣れていなかったのに、釣って大会を盛り上げるという主催者の任務を果たせてホッとしています。

志摩の人たちの協力があって、第1回大会を成功させることができました。次回に向けて今日から準備していくので、これからもよろしくお願いたします。

## 志摩の「あおさ」は日本一！～あおさプロジェクトに取り組んでいます～

### 「あおさ」って??

あおさ（和名：ヒトエグサ）は全国生産量の約3割を占めている志摩市を代表する特産品です。

あおさはほとんどが海苔の佃煮の原料として使用されていたため、一般家庭ではあまり知られていない食材でしたが、食物繊維が多く含まれることから健康食品として、最近では味噌汁の具などとして需要が増加しつつあります。



あおさは味噌汁が一番！！おススメです！！

### あおさプロジェクトの取組み

あおさのブランド化を推進し、取引価格の上昇を目指します。あおさ養殖業者の所得が増加すれば、低迷する真珠養殖業から、あおさ養殖業へ転業することが可能となります。

また、あおさはCO2（二酸化炭素）を吸収するため、あおさ養殖の増加により、CO2の吸収量も増加することになります。地域経済にもエコにも効果がある、画期的な取組みです。



あおさの消費拡大を図るため、現在、産学官が連携して、商品開発を進めています。

また、あおさをアピールするためにキャラクター（紙面右上）を用いるなど、「志摩ブランド」の情報発信にも力を入れています。

次の志摩のお土産は、あおさにしてはみてはいかがでしょうか。

詳細については、  
あおさプロジェクトホームページ  
<http://www.aosanori.jp/>

## 岡山シーガルズがやってきた！！ 山口舞選手

8月17日、志摩市志摩町片田出身でVリーグで活躍中の志摩びと“山口舞”選手とその所属チーム岡山シーガルズによるバレーボール教室が行われました。

当日は市内の多くの小・中学生が集まり、まずプロの紅白戦を見学しました。紅白戦とはいえ、「プロはすごい」と実感する球の速さ、選手の動き。子どもたちは真剣に見入っていました。

その後、シーガルズの選手から子どもたちへバレーボールの指導が行われ、プロが実際に行うような基礎トレーニングから始まり、ボールを使った練習まで、さまざまな練習メニューに子どもたちは楽しみながらチャレンジしていました。

近い将来に、志摩から新たなプロ選手がきっと現れることでしょう。



右写真：中学生を指導する山口舞選手（右側）  
左写真：バレーボール教室の様子



志摩ゆかりの



## 伊勢志摩国立公園の父 石原圓吉 翁

明治のころ、漁民たちは、漁獲した鮮魚を伊勢河崎の朝市に出すために、伊勢街道の逢坂山を越えて商売をしていたが、鮮度が落ちているからと安値で買い叩かれていました。このような問題を解決して「働きがいのある漁業」の実現をとという漁民の声に応えたのは、志摩の偉大な水産政治家「石原圓吉（えんきち）」翁でした。

翁は、漁業者間の連携と行政との結びつきを強化することに着目し、県水産会長、全国漁連理事、水産資源協会会長などの要職を歴任、また漁業者の代表として県会議員、国会議員として水産業の発展に力を尽くしました。

また翁は、戦前から伊勢志摩の国立公園の指定に力を注いでおり、昭和21年には念願叶い国立公園指定を受け、翌22年には伊勢志摩国立公園協会が設立され初代会長となりました。翁は、志摩観光ホテルの建設、奥志摩フェリーボートの就航、国道167号・260号の改修の実現に、老いの身も顧みず活躍し、現在の志摩の礎を作り上げました。

志摩の小・中学校には、翁が贈った圓吉桜と呼ばれる桜が多くあります。あなたが子どもの頃見たあの桜は、圓吉桜かもしれません。



石原圓吉(1894～1973)

あおさです  
よろしくね



志摩のあおさの PR 用のノベルティに貼られています

平成6年の世界祝祭博キャラクター「ミボラ」のデザイナーである志摩市在住の中北直子さんに、あおさをモチーフにかわいいキャラクターを描いてもらいました。名前は「あおサ〜」です。

志摩のあおさをアピールするため、あおさの袋に貼り付けて全国を飛び回っています。

## ふるさと応援寄付にご協力ください♪

### あなたの志摩への思いを実現する方法があります。

#### ★志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました

志摩市では、この地域に暮らす人々や他の地域に暮らしていても、絶えず「心のふるさと志摩」を思い、また志摩市の発展を願う人たちの熱き心を地域づくりに活かし、住民参加型の地方自治を進めるため、志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました。

#### ★寄付金の運用目的を指定できます

いただいた寄付金の運用方法は、寄付していただいた方ご自身により、次の7項目からご指定できます。

- (1) 環境に関する事業
- (2) 生活・安全に関する事業
- (3) 産業の振興に関する事業
- (4) 健康・福祉に関する事業
- (5) 教育・文化に関する事業
- (6) まちづくりに関する事業
- (7) その他個別の指定事業



#### ★申し込み方法

寄付金額は1口5,000円より。申請をいただいた方に振込用紙をお送りします。詳しくは企画政策課までご連絡ください。

申請のない方に振込用紙等をお送りすることは一切ございませんので、ご注意ください。

【問い合わせ】

志摩市役所 企画政策課

TEL：0599-44-0205

FAX：0599-44-5252

e-mail：kikakuseisaku@city.shima.lg.jp

## イベント歳時記

イベント名	開催日	開催場所
真珠祭	10/22	円山公園（賢島）
ミズノクラシック（女子ゴルフ）	11/7～11/9	賢島カントリークラブ
志摩のまつり in パルケ	11/24	志摩スペイン村
志摩パークゴルフ大会	12/14	志摩パークゴルフ場
美し国ウォーキング	2/14, 22 3/1	阿児、大王、磯部

【イベントに関する問い合わせ】

志摩市観光協会

TEL：0599-46-0570 FAX：0599-46-1113